

政治を変える、今が絶

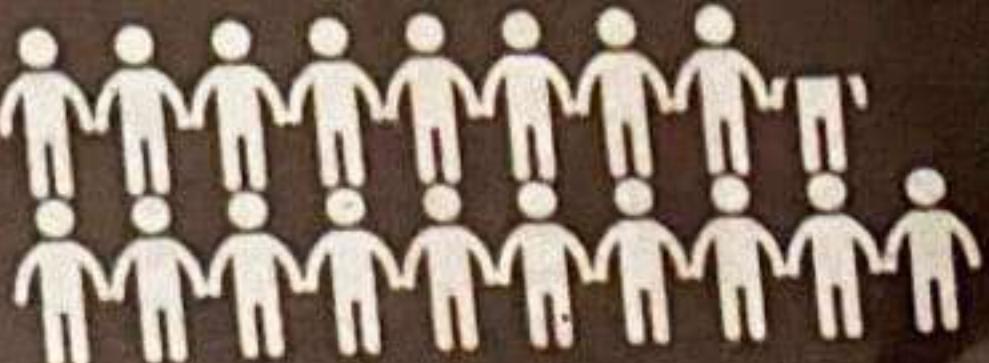
先月末、あけび書房から『市民と野党の共闘で政権交代を』が出版された。今秋の衆議院総選挙と来夏の参議院選挙を控え、その選挙の争点や市民の手に政治を取り戻すための課題について、各界の第一線で活躍する7人の寄稿をまとめた1冊だ。

選挙に行かなかった人
4914万人



2017年の衆議院選挙(比例区)のデータ

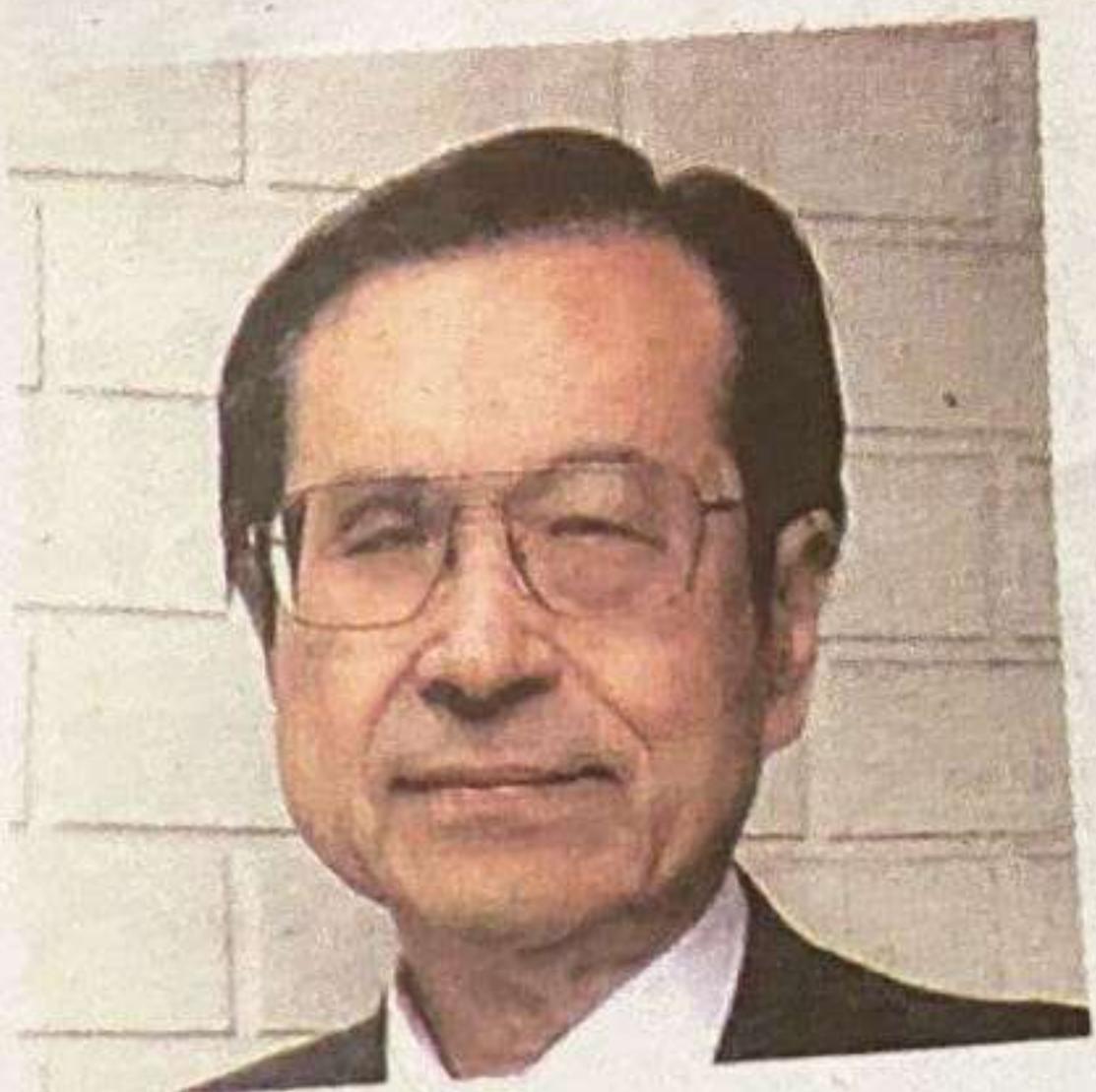
自民党に投票した人
1856万人



2017年の衆議院選挙(比例区)のデータ

緊急出版

『市民と野党の共闘で政権交代を』



法政大学名誉教授の
五十嵐仁さん

そのと取覚

政治を変えるしかない
著者の一人、法政大学名誉教授の仁さん(70・八王子市)は「まさにものズバリの題名です。今こそ、政える極めて大きなチャンス」と話す「コロナ感染対策も後手後手になの命が守られない。こんな状況は、ンの限界です」と五十嵐さん。

どうすれば政治を変えられるかさんは本書で、市民と野党共闘がみ重ねてきた経験と実績を、具体りやすく解説する。また気候変動本を含む世界全体が時代の転換期